



笑顔いっぱい 夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校

学校だより No.26

令和7年 7月 4日

文責:校長 酒井 健

◇令和7年度の第1回方部子ども会が行われました。

7月3日(木)に、今年度初めての方部子ども会が行われました。はじめに、方部ごとに各教室に集まり、これまでの集団登校の反省や通学路の確認、夏休みの過ごし方などについて話し合いが行われました。続いて、登校班ごとに一斉下校となりました。この方部子ども会には、育成会や校外補導委員の役員の皆様方、そして、地域サポートチームの皆様方にもお集まりいただき、子どもたちへの指導、助言をしていただきました。安積三小の子どもたちは、地域の方々、保護者の皆様方に温かく見守られていることをあらためて強く感じました。ご協力ありがとうございました。



安全安心な夏休みを
◆自転車の乗り方
乗っていい場所、ヘルメット着用、飛び出し注意、スピード
◆ルール・マナー厳守
公共の施設(公園など)での遊び方、帰宅時刻

◇「学び合い」・・・先生方の研修会がありました。

7月2日(水)には、安積第三小学校の先生方の研修会が行われました。この日は、外部講師として橘小学校主幹教諭の滝田弓子先生を招聘し、「学び合い」についての研修を深めました。授業の中で、子どもたちどうしが、互いの想いや考え方を尊重しながら、聴き合うことができる子どもたちに育ってほしいと願っています。この研修会では、学び合いを大切にしたい授業づくりについて、様々な角度からお話をいただきました。とても有意義な研修会でありました。



◇7月5日は「校地内交通安全の日」です。

2012年7月5日の朝、郡山市内の小学校の校地内で自家用車による児童の死亡事故が発生してしまいました。あれから13年となります。それ以来、郡山市では7月5日を「校地内交通安全の日」として、二度とこのような悲惨な事故が起こらないように・・・という気持ちをもつことができるようにしました。安積三小でも、このようなことが起こらないように、さらに気持ちを引き締めて子どもたちの安全安心を守っていききたいと思います。

校長のひとりごと

安積三小の学区には、たくさんの公園があります。これらの公園は、子どもたちにとって憩いの場があります。私も子どもの頃、毎日のように行っていた公園があります。半世紀以上経った今でも、その公園はあります。近くを通ると、50年以上も前の思い出が蘇ります。銀玉鉄砲で友達と撃ち合っていたこと、水飴をなめながら紙芝居を見ていたこと、缶蹴りをしていたこと・・・それらは、懐かしい昭和の風景です。さて、さて、最近、安積三小の学区にある公園で、ゴミがたくさん落ちているというお話がありました。その話を聞いて、以前、コンビニで見かけた張り紙を思い出しました。なるほどという言葉です。

『捨てる人は、拾わない 捨てない人が、拾っている』

テレビで、町中に捨てられているゴミを拾いながら旅をしているという特集もありますよね。『捨てる人はいない・・・だから拾う必要がない』・・・そんな世の中であってほしい、そんな安積三小の学区にある公園であってほしい・・・そんなことを感じました。

